

特集

待ったなしの感染症対策

新型インフルエンザ対策 保健師が知っておきたいこと ————— 玉記雷太・押谷仁

感染症健康危機管理における保健所保健師の役割と求められる能力 ————— 春山早苗

事業継続計画(BCP)と保健師の役割 市町村はどう動くか? ————— 堀裕美子

若者と結核, 経済格差などの社会的課題と結核 ————— 小林典子

感染症対策としてのワクチンを考える

集団食中毒事件に関連した A 型肝炎の予防対策 ————— 杉下由行

施設内感染症防止への保健師の関わり ————— 細野幸代

編集後記

●今年の梅雨入りは例年より少し遅れたようだ。最近の梅雨の降雨は豪快に降ることが多い。突然、局地的に雨雲が発生し土砂降りの雨が降り、ここ数年、多くの災害をもたらしている。我が家の近くでも川があふれ、知りあいの家が床上浸水の被害にあったのは4年前だった。区役所や保健所の人が来て災害現場を廻り、必要な援助を行い、対策が立てられた。その後、同じ場所で災害は起こっていないが、今でも豪雨があると雨量情報や、川の水位の情報に注意するようになった。地域の防災に目を向け、救命救急や防災の講習を受けた。

ところで、身の回り、地域に目を向け、まちづくり、地域づくりへと広がる視野の広がりを地球全体、自然環境にまで広げ、また今のことだけでなく、過去から現在、そして未来に思いを広げると「エコ」となる。

「そんなこと当たり前じゃない、知ってるよ、何を今さら」って。そうですね。知ってたけど、行動が不十分だったから、ターニングポイントとなるよう、エコ元年と言われるのではないのでしょうか。(杉之尾)

●学生時代、十数か国に滞在したことがあります。1日足らずのマレーシアから1年弱のアメリカまで、滞在時間はさまざまですが、「僕ここ行ったことある」と他人に言えるという点は、期間や滞在の内実とは無関係です。当時の動機は不確かですが、「いろんな人がいる」と手っ取り早く感じる手段として、外国に行きたかったのかもしれない。もちろん、わざわざ遠くに行かなくても、人はそこら中に溢れています。仕事を通して多様な人と会い、「いろんな人がいるな、ホント」という実感を抱きます。想像力を働かせたり、面白い人の話を聴いたりすると、可能性だけは無数に拡がり、その実現可能性は隅に置き、もしあの分岐点であっちの道を選んでいたら自分はようになっていただろう、と思うと同時に、無限のそっちやこっちの枝分かれを選ばなかったからこそ、今ここにいられるのかも、とも感じます…とはいっても、日々の生活は荒波ではないにせよ、楽ありゃ苦もあるわけですが。優秀な編集者には何か共通したターニングポイントがあるんでしょうか。今度、飲み会で先輩・大先輩に聞いてみようと思います。(長谷川)

保健師ジャーナル 第65巻8号 2009年8月10日発行(毎月1回10日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2009, Printed in Japan

1部定価1,365円(本体1,300円+税5%) 2009年年間購読料(税込、送料弊社負担)15,000円、電子ジャーナル閲覧オプション付20,000円

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部(03)3817-5657 社内案内(03)3817-5600

保健師ジャーナル編集室(03)3817-5774 電子メールアドレス hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当/杉之尾・長谷川・伊藤

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCOPY <(社)出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。1348-8333/09/¥250/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示の提示をお願いいたします。